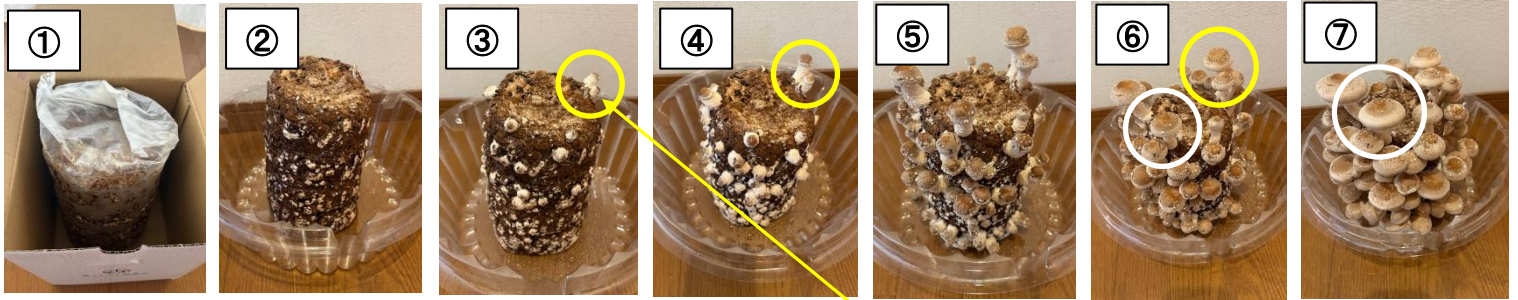




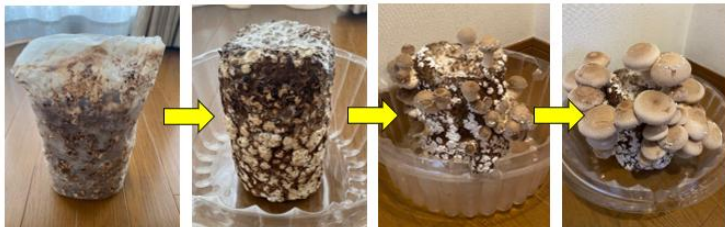
「ヒ・ミ・ツ」の自由研究

校長 尾崎 淳一



私の「ヒ・ミ・ツ」の自由研究について、発表します。

- ① **5月2日(土)【1日目】**: 家族不在の時間指定の宅配便で、首を長くして待っていた**大切な荷物**が届きました。すぐに開封との指示に従い、丁寧に袋を開けました。
- ② 全体を水で湿らせた後、専用容器に入れ、家族に見つからないように**目立たない廊下の隅**に置きました。今後の世話は、毎日1回、霧吹きで水を吹き掛けるだけです。
- ③ **5月3日(日)【2日目】**: 全体的に白い部分が増えてきて、**特に右上の芽**が順調に伸びてきました。丁寧に水を吹き掛けた後、私は「知立まつり」に出掛けました。竜北生にもたくさん出会いました。みんな元気そうで楽しそうでした。よかったです。
- ④ **5月4日(月)【3日目】**: 全体から芽が出てきました。右上の芽が相変わらず**「大将」**です。突然、私の妻が、**「またシイタケが届いたの？」**と鋭い質問を浴びせてきました。つい油断して見つかってしまい、「ヒ・ミ・ツ」が秘密ではなくなりました。
- ⑤ **5月5日(火)【4日目】**: 芽はすくすくと育ち、すぐに「キノコ」と分かる形になってきました。私同様に細身のキノコですが、これはシメジでなく**「シイタケ」**です。
- ⑥ **5月6日(水)【5日目】**: GWも今日で終わり、寂しさを紛らわすためにシイタケを観察しました。周りの成長により、「大将」が目立たなくなり、いつの間にか**大将の座も奪われていました**。栄枯盛衰(えいこせいすい)、余計に寂しくなりました……。
- ⑦ **5月7日(木)【6日目】**: 久しぶりの学校から帰り、夜にじっくりと観察しました。伸び盛りのようで、昨日に比べて随分と大きくなりました。普段は湿度を保つため、写真の容器と同じ素材の透明な蓋をかぶせています。今日は朝に霧吹きをした後、一度も蓋を取らなかったことが、よい環境につながったのでしょうか。そろそろ**私の観察日記も終末が近付いてきました**。立派なシイタケに育ったので、**収穫の時期**です。



左は、昨年度の第5号に載せた、「令和7年度の自由研究」です。今回の方が数が多いので、かなり得をした気分です。飼育栽培の苦手な私でさえ、簡単で確実に育てられる『シイタケ栽培セット』は、文句なしにお薦めですよ。皆さんもいかが？

実は、**シイタケ栽培の大成功**で調子に乗った私は、**ある生き物の育成**にもチャレンジしようと考えています。「何」を育てるかはまだ内緒です。インターネットで調べると、孵化と飼育がなかなか難しいとのこと。成功したら自慢します。失敗ならば口を閉ざします。様々なことにトライして、自分の**「得意なこと」**を楽しみましょう。**「竜北生、Go!!」**

5月に入ったと思えば、あっという間に中旬。1年生は元気にCMFを終え、来週は3年生が修学旅行に出掛けます。夢の大都会で、多くを吸収してくれると期待しています。